

ひるば

▲発行責任者
標津高等学校教育振興会
会長 梅木 雅 則
▲発行日
令和5年3月1日発行



祝 標津高等学校第69期生 卒業証書授与式

誇りを持って未来へ羽ばたけ!

標津高等学校教育振興会
会長 梅木 雅 則

卒業される32名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。進学される方、就職される方、それぞれと思いますが、今は期待でいっぱいだと思います。

皆さんが標津高校に入学された時は、どのような夢を抱いていたでしょうか。そしてこの三年間で、どれだけその夢を叶えることが出来たのでしょうか。

私が思うには、皆さん一人一人の人生において、この標津高校だからこそ学ぶことが出来た経験が沢山あると思います。なぜなら、私は過去に、標津高校のPTA会長を7年務めさせて頂いた時に、強く心に残ったことが、生徒一人一人と先生達、事務方、そして校長先生までが一体化していたことです。このような高校は、そうそうあるものではありません。標津高校を転勤された先生方からも、過去の思いを伺いましたが、同じ事を言っていました。それだけ皆さんは、恵まれた環境の中で過ごすことが出来たことに、誇りを持ってください。私が見た限りでは、他の高校生よりも、皆さんの方が相当な成長ぶりを感じます。

これからの一生の中において、数々の苦難や壁にぶつかることが、多々あると思います。それを乗り越えるには、努力も必要ですが、自分の限界を越えてはいけません。どうしても行き詰まった時には、標津高校でお世話になった先生に相談してみることをお勧めします。きっと為になるアドバイスを頂けるとと思います。

そして、願わくば、最終的には標津町に帰ってきて頂き、それまでの経験を活かして下さい。心から待っています。

終わりになりますが、各関係団体の方々におかれましては、標津町において貴重な標津高校の為に、これからも応援を宜しくお願いします。

地域の未来を創っていく生徒の育成

北海道標津高等学校
校長 渡辺 幹夫



厳しい寒さもようやく和らぎ、ここ標津の地にも春の息吹が感じられる季節となりました。

本日ここに、第69期生32名の卒業にあたり、標津高等学校教育振興会、標津町教育関係者の皆様、さらには町民の皆様より、今日まで多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さて、本校は、昭和9年4月に標津村立標津実践女学校としてスタートし、来年度には創立90周年を迎え、これまで、約6,000名に及ぶ卒業生を輩出した伝統校であります。

また、本校は、創立50周年を記に制定された校訓「求道自琢」、「仁愛恭儉」、「実践躬行」の下、「地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成」をスクール・ミッションとして教育活動を進めております。

今年度におきましては、昨年度に引き続き、コロナ禍での制限された教育活動となりましたが、規模や内容を厳選した上で、何とか主だった学校行事を実施することができました。しかし、生徒達にしてみれば、自分たちが思い描いた高校生活を送ることができず、不完全燃焼に終わってしまった生徒もいるのではないかと思います。その様な中でも、生徒会執行部の生徒が中心となり、制限された中でも工夫して学校行事を企画し、運営してくれました。また、生徒達がコロナ禍において我慢を強いられる場面が多々あったにもかかわらず、不平不満を言わず、指示に従ってくれたことに感謝しております。この様な経験は、必ず、社会に出て役に立つと思いますので、これからも社会人として即戦力となり活躍してくれる生徒を地域の皆様とともに大事に育ててまいりたいと思います。

今年度の「ひるば147号」でもお伝えしたとおり、本校は、「地域とともにある学校」を目指しており、来年度もその目標は変わりません。今年度から、地域連携特例校として、1学年1クラスの小規模校となり、これからも少子化の影響等で生徒数が減少し、そのため、教員数も減り、教育活動が制限される危機に直面することが予想されます。この危機を打開するには、地元のこども園、小学校、中学校との連携をさらに強化するとともに、教育振興会や標津町教育関係の皆様をはじめ、地域の皆様方のご支援とご協力が必要不可欠であります。どうか、趣旨をご理解いただき、今後とも本校の教育活動に対しまして、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

卒業生の言葉



就職するにあたり

3年A組 岩間 駿

私はこれから社会人になります。今までの高校生活で先生方や友人達から色々な事を教えていただきました。部活動では、諦めて投げ出すのではなく、最後の最後まで頑張ることの大切さや礼儀の大切さ、継続することの大切さを学びました。

学校行事では、友人と協力することの重要性、災害が起こったときには、どういう対応をしなければならないのか等を学ぶことができました。

私はこれから社会人になると考えると期待に胸を膨らませる反面で不安や怖さを感じています。今まで標津高校で学び、培ってきたものを武器にしてこれから頑張っていきたいです。色々な人のおかげでたくさん成長することができました。人に対する感謝を忘れない人になりたいと思っています。これから更に成長した姿をいつか見せられることを楽しみとして、頑張っていきたいと思います。



進学するにあたり

3年A組 佐々木 遼太郎

私は4月から札幌学院大学に進学します。将来は幅広い視野を持ち、教育現場で活躍できる人材を目指していきます。そのため、実習やフィールドワークを多く取り入れ、教員免許も取得できる札幌学院大学に進学を決めました。

私は3年間、勉強に力を入れてきました。高校生になり、進学が就職か、将来について考えることが増えていきました。将来したいことが明確に決まっていなかった時期は、今後のためにもテストの点数を上げるように努力したり、評定を意識したりするようにしました。その甲斐あって推薦していただくことができました。多くのアドバイスをくれた先生方や支えてくれた両親には、とても感謝しています。コロナウィルスの影響を受けた3年間、思うようにいかないことも多くありましたが、結果的には楽しい3年間でした。大学に入学してからも苦難に立ち向かい、更に成長して教員という立場で標津高校に戻ってこれたら、と思います。



在校生から卒業生へ

お祝いの言葉

生徒会長 2年A組 今村 歩乃華

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間大変お世話になりました。2年生の時に見た行事を全力で楽しむ姿、そして最高学年になって学年を引っ張っていく姿はかっこよく見えました。コロナ禍という事もあり、関わる機会は多くありませんでしたが、多くの事を教えてもらったように思います。

卒業後は、進学でも就職でも数多くの困難と挑戦の連続だと思います。ですが、ピンチをチャンスに変えて、今まで学んできた知識や経験・自分の個性を生かして乗り越えていってください。疲れたら、高校生活を思い出してください。そこには皆さんの糧となるものがあると思います。結びになります。先輩たちのこれからが華々しいものとなります様。在校生一同願っています。

担任から卒業生へ

お祝いの言葉

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今日、この日を迎えられることをとてもうれしく思います。保護者の皆様、地域の方々等、たくさんの人に支えていただいたおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

3年間で振り返ると、修学旅行では本来行くはずの無かった九州に…。でもこれがまた良かったですね。熊本、鹿児島に行けたこと、船にのって桜島に行けたこと、コロナ禍で色々な制限がありましたが、とても楽しく九州の歴史や文化に触れることができました。ただ…初めて飛行機に乗る人たちがいるのに九州って…、そこが唯一の反省点でしたが、皆さんが健康で無事に帰って来ることができたので100点満点でした！学校祭、体育祭では、2年生で悔しい思いをしました。来年は勝とう！と思った人も多かったと思います。

3年生になり、自分達で作上げた学校祭や体育祭、W優勝で完全優勝にとっても感動しました。優勝するためにたくさん話し合いをし、みんなで作り上げたものだったからこそ、喜びも大きかったのではないのでしょうか。そんな瞬間と一緒にいられて、とても幸せでした。

4月からは、それぞれの道に進むことになります。しっかりと強い芯を持ち、他者を思いやり、周りが見える、粋な計らいができる人になってください。私は皆さんを常に応援しています！がんばれ！！身体には十分気をつけて、これからのみなさんの活躍を期待しています。

3年A組 担任 平山 直樹



令和4年度卒業生 進路決定報告

◎大学・短大への進学状況

・釧路公立大学 ・杏林大学 ・東海大学 ・札幌学院大学 ・星槎道都大学

◎高等看護学校への進学

・JA北海道厚生連 旭川看護専門学校

◎各種専門学校等への進学

・札幌デザイン＆テクノロジー専門学校(3) ・札幌プライダル＆ホテル観光専門学校 ・北海道情報専門学校
 ・札幌ベルエポック美容専門学校 ・札幌科学技術専門学校 ・札幌商工会議所付附属専門学校(2)
 ・経専調理製菓専門学校 ・専門学校札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校 ・札幌ベルエポック製菓調理専門学校
 ・札幌歯科学院専門学校 ・くしろせんもん学校 ・大阪総合デザイン専門学校

◎公務員・民間企業等への就職

・陸上自衛隊一般専候補生 ・標津町農業協同組合 ・野付漁業協同組合 ・株式会社 上田組 ・やまぎき歯科医院
 ・コマツ道東 株式会社 ・釧路トヨタ自動車株式会社 ・総合病院 釧路赤十字病院 ・知床タイヤ商会

見学旅行の思い出

2年A組 横岩 こころ



10月17日～21日で見学旅行に行きました。1日目は大阪で自主研修でした。海遊館と道頓堀に行きました。色々な生き物が見られて楽しかったし、本場のたこ焼きがとても美味しかったです。2日目は奈良公園や清水寺、鹿苑寺に行きました。たくさん鹿と遊んできました。とてもおとなしくて可愛かったです。金閣は思った以上に金色で、とても綺麗でした。3日目は東京の自主研修です。京都から新幹線で東京へ向かいました。初めての東京は人がすごくてびっくりしました。

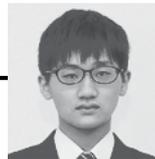
4日目はずっと楽しみにしていたディズニーランドです！乗りたかった乗り物に乗れたし、パレードなども見られて、とても楽しかったです。5日目は国会議事堂と浅草に行きました。国会議事堂で会議をしている様子を実際に見てみたいとなりました。

5日間を通して、色々なことがあって、良い思い出ができました。個人で行くよりも、クラスのみならず行けたことがとても楽しかったです。もう一回見学旅行に行きたくなりました。計画通りに行かないこともあったけれど、自分で考えて行動できるように成長できたと思います。見学旅行に行かせてくれた先生方、保護者の方々にはとても感謝しています。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



宿泊研修の思い出

1年A組 芦崎 海凧



高校に入って初めての宿泊研修は、コロナによる学級閉鎖で1度は延期になりましたが、12月15日、16日に実施できました。

1日目の最初は、釧路短大で講話を聞きました。短大と大学の違いや、進路を考える上で大切なことを学ぶことができました。次に行った芸術館では、作品だけではなくバックヤードも見学することができ、貴重な経験ができました。宿泊は川湯観光ホテルで、露天風呂にも入りとても癒やされました。

2日目の最初は硫黄山に行きました。臭いが強烈で、間欠泉の湯気が上がるところに近づき、吹き出し部分を触てみると意外と熱く、驚きました。最後に行った「ほがじゃ」小清水工場では、廃校になる小学校の原型を残しながら、内装を改築し、工場にするという発想が凄いなと思いました。また、地域への貢献がすごいと改めて感じました。

この2日間あっという間でしたが、時間ムルムルも自分の中では守れたと思っています。これを継続し、見学旅行だけでなく、普段の生活や他の行事に生かしていきたいと思っています。

活躍する生徒たち

危険物取扱者試験乙種第4類合格

1年A組 小部 真愛

11月13日に中標津町で危険物取扱者試験がありました。私はその日に向けて危険物取扱者乙種第4類の勉強をしました。勉強方法は、問題集と過去問を解き、危険物取扱者の資格を持っている先生の講習に参加しました。講習に参加したおかげで試験に良く出る問題や絶対に暗記したほうが良い所を学ぶことができ、試験の時に講習で学んだことがとても役立ちました。初めての挑戦だったので緊張してしまいましたが、無事に合格することができて嬉しいです。

これからもこの経験を活かして勉強に取り組んでいきたいと思っています。



日本商工会議所簿記検定2級合格

2年A組 濱崎 蔵乃介

僕は公認会計士を目指すため、1月11日に日商簿記検定の3級と2級を受検しました。11月の下旬から3級の勉強を始め、12月の中旬から2級の勉強を始めました。学校がある日は4時間程度、冬休みに入ってから、毎日6～8時間程度勉強しました。受検を決めるまで全く勉強していませんでしたが、今回良い結果を出すことができたので、次は1級を在学中に取得できるよう頑張りたいです。



実用数学検定準2級合格

2年A組 山崎 稜空

- (山) 12月の初旬に合格しました。点数が高く、個人的にも満足のできる結果になりましたね。
- (Q) なるほど。質問に入ります。まず、今の率直な気持ちをお聞かせください。
- (山) 数学I Aの内容を復習することができたので、受けて良かったと思いました。あと、準備時間を取れていなかったのですが、先生が用意してくれた問題や友人からの応援もあり、対策に力を入れることができました。
- (Q) 次の質問に移りたいところですが、文字数制限が迫ってきているため、質問はこれで終了とさせていただきます。
- (山) ありがとうございました。山崎でした。



進路指導部長より

コロナ禍も3年目を迎えた本年度、全国的には求人に関してコロナ禍以前の状況に回復したと言われ、標津高校もご多分に洩れず数多くの求人に恵まれた1年でありました。

さて、本校3年生は進学希望者が就職希望者の2倍を超えています。現時点でほとんどの生徒が進路先を決定し、中でも1割の生徒は道外に羽ばたきます。今年度進路指導部では、各種進路ガイダンス、職業体験イベントやインターンシップを通して自身の進路への見通しを持たせるとともに、キャリア意識を高めてまいりました。

さらに標津町からのご支援により無償で利用できる「スタディサプリ」は、社会人として必要な基礎・基本の学力定着を図ることができます。自身の学習の抜け・漏れが明確になる到達度テストの実施と合わせ、抜け・漏れをフォローする連動課題に、毎週末取り組ませることで生徒の学びをサポートしております。

また、北海道教育大学釧路校と「NPO法人いきたす」にご協力いただき「カタリバ」を実施しました。生徒たちは普段では口にできない自身の内面を表に出し、自らと向き合うことができました。生徒の心に火をともし、背中を押すことができたことと確信しております。

最後にはなりますが、本校の教育活動、進路活動へのみならず多様なご支援・ご協力に、この場を借りてお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



防災減災活動

▶防災減災活動「リアルHUG」の取組

私たちは12月27日にリアルHUGを行いました。リアルHUGとは、標津高校オリジナルの避難所運営ゲーム（HUG）を実際に再現するというものです。ボランティアの標高生、町民の方々、しべつ未来塾や岩手県釜石高校の夢団の皆さんが参加してくれました。

まずは避難所の設置、避難者の受付や誘導を行いました。私たち生徒会もリアルHUGを行うのは初めてでしたが、皆さんと協力することで設営から誘導をスムーズにできました。設営、受付、誘導それぞれ良い点と改善点を見つけたので今後の活動に生かしていきたいと思えます。

次に炊き出し訓練をしました。普段は中々自分たちだけで火を起こすことはないの、とても苦戦しました。炊き出し訓練の後は、夢団の皆さんとお互いの高校の防災活動について発表し、防災について皆で話し合いました。夢団の方とは、お話できる機会が少ないので有意義な時間になりました。

最後になりますが、今回のリアルHUGに参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

2年A組 川村 琉瑚



▶「知床ユネスコフォーラム2022」に参加して

1月16日に行われた「知床ユネスコフォーラム2022」に生徒会役員として参加しました。

午前中は北海道ユネスコ連絡協議会会長の大津和子先生の基調講演を聞きました。

大津先生の基調講演の中で1番印象に残ったのは、プラゴミの現状です。5兆枚のビニール袋が使われていて、そのうち9%はリサイクルしているが、それ以外は埋め立て、焼却、自然投棄されていることと、1人当たりの包装用プラゴミ量は、アメリカに次いで日本は2位であることに驚き、印象に残りました。

午後からは、知床圏の4つ高校（清里高校・斜里高校・羅臼高校・標津高校）による交流会でした。

学校行事の話や各校のユネスコ活動の取り組みの共有、活動を行うにあたっての課題について話合いました。交流会の最後には、「知床4校が一体となってユネスコに対する理解を深めるとともに、地域を巻き込んだ清掃活動をする」という共同宣言を決め、次年度の活動目標が決まりました。大津先生や知床4校の活動の様子が聞けて有意義な交流会になりました。

2年A組 鈴木 愛加



ユネスコ スクール 活動

特色ある教育活動

森林・林業学習

11月18日(金)、1学年の総合的な探究の時間で「森林・林業学習」を行いました。今回は、根室振興局林務課と森林室から3名の講師の方にご来校いただきました。まず、森林とSDGsというテーマで講義をしていただきました。森林の果たす役割やSDGsとの関わり、持続的な森林経営がSDGsの目標の達成に貢献することなど、森と人のつながりについて学習しました。また、標津町の防風・防霧保安林についても説明していただきました。次に林業の仕事について、高度な機械化が進んだ最近の様子も含めて、教えていただきました。

今回の学習では、森林の役割についてSDGsとの関わりから学ぶとともに、林業の仕事への理解を深めることができました。ご協力をいただいた講師の皆様、ありがとうございました。



標津の特産品で教科横断的な学習

12月2日(金)、3年生は標高ホタテデーでした。1・2時間目の生物では、新鮮な帆立を観察し、体のつくりについて学びました。解剖にもチャレンジし、活きの良さにびっくりしながら悪戦苦闘している様子でした。

3・4時間目のフードデザインの授業では、講師として標津漁業協同組合の女性部の方4名が来校してくださりました。帆立の構造について講義を受けた後に、剥き方を教えていただき、生徒達も実践しました。活きの良い帆立は殻が閉まる力が強く、歓声をあげながらも夢中になって剥いていました。剥いた帆立を使用してクリームシチューと帆立のサラダを作りました。クリームシチューでは、標津牛乳と町民畑で生徒が育てたじゃがいもを使用し、地産地消にこだわった料理は一段と美味しく感じました。

この度は、標津漁業組合に帆立を提供して頂いたお陰でこのような貴重な体験をすることができ、心より感謝申し上げます。標津漁業組合女性部の皆様におかれましても、お忙しい中ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

この授業は海洋教育パイオニアスクール単元開発（日本財団）の一環で行われています。

野生動物学習

1月20日(金)、3学年の自然環境系科目で「野生動物学習」を行いました。今回は、北海道大学大学院獣医学研究院 教授 坪田 敏男 先生に「市街地に出没するヒグマの生態と対策」というテーマで、オンライン授業をしていただきました。授業の中では、ヒグマの詳しい生態や、陸域と海域の生態系をつなぐ重要な役割を果たしていること、市街地への出没対策の課題などを学びました。講義の後の質問タイムでは、受講生全員が坪田先生に積極的に質問し、疑問に思ったことを丁寧に教えていただきました。

お忙しいなか講義をしてくださった坪田先生、また、授業の実施に協力してくださった標津町役場農林課の長田様、ありがとうございました。次年度も、このような外部講師による授業を積極的に実施していきます。

